

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369

すくすく 育て★育て



令和元年(2019年) 第4回定例会

議案審議 PICKUP 2P

一般質問 「町政を問う」 12人の議員 4P

常任委員会視察レポート 11P



志茂町児童館「親子サロンにて」



12月定例会 議案審議

こんなことが決まりました

11月29日～12月13日までの15日間

12月定例会議案

町長提出議案 18件

今号では、3つの議案を
Pick up



日の出町「ひのでちゃん」

Pick up 1

(議案第75・76号)
日の出町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
日の出町大久野健康いきいきセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

主な改正内容

日の出町使用料手数料等の見直しに関する指針に基づき、本宿老人福祉センター、平井生涯青春の湯ふれあい総合福祉センター、大久野健康いきいきセンターの温泉浴場の使用料の見直しを行うもの。

	改正後	改正前
町外	600	400
町内高齢者 (65歳以上)	100	150
町内一般 (16歳～64歳)	200	300
小中学生、障がい者 その付き添い	150	100
未就学児童	無料	無料

Pick up 2

(議案第82・83号)
日の出町元気に長生き奨励金支給に関する条例の一部を改正する条例
日の出町寝たきり高齢者等支援手当支給条例の全部を改正する条例

主な改正内容

福祉単独施策の受給者の公平性・均衡性を図る必要から、資格要件等について、条例の改正を行うもの。改正の内容と対象者の要件については、

- ①日の出町に引き続き3年居住し、かつ同期間、町の住民基本台帳に記録されているもの
 - ②生活保護法による保護をうけていないもの
 - ③介護保険法9条に規定する被保険者 など
- 但し、町税、国税に滞納がある場合は、資格停止の規程あり。

Pick up 3

(議案第86号)
日の出町消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

主な改正内容

機能別団員制度を導入するにあたり条例の一部を改正するもの。*機能別団員の報酬は、年額1万5千円。
※消防団員として5年以上経験した、40～50歳までの者で、その豊富な経験を生かし、定められた範囲内で消防団活動を行う消防団員。

議 案 と 結 果

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	立	共	結 果
69	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度(2019年度)日の出町一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	承認
70	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度(2019年度)日の出町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	承認
71	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	同意
72	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
73	日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
74	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
75	日の出町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	可決
76	日の出町大久野健康いきいきセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	可決
77	令和元年度(2019年度)日の出町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	可決
78	令和元年度(2019年度)日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
79	令和元年度(2019年度)日の出町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
80	令和元年度(2019年度)日の出町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
81	日の出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
82	日の出町元気に長生き奨励金支給に関する条例を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
83	日の出町寝たきり高齢者等支援手当支給条例の全部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
84	日の出町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
85	日の出町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
86	日の出町消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決

＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略号	所 属 議 員 (★印…会派代表者)	
自民蒼政クラブ	自	★小玉 正義・濱中 映慈・東 亨・加藤 光徳・平野 隆史・木住野 智行・濱中 直樹	7人
明 政 会	明	★田村 みさ子・清水 浩・萩原 隆旦	3人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
立 憲 民 主 党	立	★青鹿 和男	1人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1人

一般質問

12人の議員



要旨



縄井 貴代子

質 台風19号を教訓に防災力・減災力を強化し安心して暮らせる町に

質 町内の被害状況を伺う。

課長 現時点では、土砂崩れ15件・道路冠水10件・護岸洗掘5件・床上浸水5件・床下浸水7件を覚知している。
質 今後の復旧スケジュールを伺う。

課長 町が管理する町道・河川等は担当課で順次対応している。

質 避難所の収容力に限界があることが浮き彫りになったが、今後の対策を伺う。

課長 タイムライン(避難行動計画)の早期策定や自治会との共助体制の研究、非常食の準備情報の周知など行いたい。

質 各自治会長へ災害時の要配慮者名簿が配

布されているが、活用状況を伺う。

課長 現在は、避難行動要配慮者名簿が確定されていない。個別計画を作成する中で活用方法を検討していきたい。

質 災害復旧への経費見込み額を伺う。
課長 令和元年度は、下水道から町道整備などを含め8750万円。

令和2年度は、林道の災害復旧や河川・道路日の出団地の法面下の復旧事業の調査費等を含め、現在、1億1700万円と報告している。

質 復旧費用の財源について。

課長 東京都の災害復旧復興特別交付金を財源としたい。
質 町内の清掃など衛生対策を伺う。

課長 今回の台風では、破傷風等の危険性が少ないため、清掃の予定はない。



都道184号線災害復旧現場作業



小玉 正義

「日の出町立学校における働き方改革推進プラン」について

質 成立過程での取り組みについて伺う。

課長 東京都教育委員会が平成30年2月に策定した「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、30年10月から11月にかけて、勤務実態調査として、ヒアリング、課題抽出アンケート、勤務時間の把握を行い、意識調査としてチェックリストを用いて業務改善意識や業務の進め方について調査を行った。

業務改善意識の改善と出勤システムや統合型校務支援システム等のハード面改善の両輪が必要との結論となった。
質 時間配分会議や全体業務改善会議等は当

初目標どおり進められているか伺う。

課長 両会議においては、パイロット校である本宿小、大久野中にコンサルタントが入り、具体的な業務改善についての話し合いがもたれた。また、真の同僚性を構築するためのワー



本宿小学校全景

クシヨップも取り入れて計画通りに実施した。

質 部活動ガイドラインの策定・見直しが大きな項目だと思われるが、進行状況はどうか。

課長 部活動基本方針は平成31年3月に策定した。部活動が強くなるほど期待度も高まり、休養日を設けない等の問題があるが、避けなければならぬ。部活動外部指導員を活かしていく。



田村 みさ子

台風19号・災害時要援護者について

質 名簿の活用は。

町長 平成25年に災害対策基本法が改正され、高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に支援を要する

方の名簿作成が義務付けられた。今回、支援等の確立が必要と改めて実感した。見直しや検討を進めていく。

課長 避難行動要配慮者名簿を災害対策本部と避難所に配置、五日



10月16日 小池都知事現場視察

法の検討をしていく。

台風19号・避難所での保健師による対応

質 当時の状況は。

課長 3名の保健師が10月12日11時より対応した。4ヶ所の避難所の合計避難者653名

市警察署と秋川消防署に提供して備えたが、具体的活用まで至らなかった。

の内438名、67%の健康相談を実施した。薬を持たずに避難する高齢者が多く、今後、伝えていく必要がある。児童生徒の災害時引渡し訓練

質 福祉避難所は開設したか。

課長 していない。要配慮避難者には個別の部屋を確保した。

質 今後に役立てるための聞き取り実施を。

課長 年一度の引渡し訓練と、毎月の防災訓練を実施している。

課長 全数把握しての検討は難しいが、今回の実態を踏まえて避難行動要支援者の個別計画策定のなかで避難方

質 同日に一斉実施の要望があるが。

課長 多くの課題があり実施は難しい。



はぎ わら たか あき
萩原 隆旦



新規就農者向け補助事業により建設中のパイプハウス

担い手不足に直面する農業政策を問う
質 耕作放棄地対策など農業活性化策を伺う。
町長 高齢化や担い手不足による耕作放棄を克服して活力を取り戻すことは待ったなしの課題。農業者育成と農地保全を主要施策に掲げ、農業委員会による農地パトロールや都補助金を活用した支援の取り組みを行っている。

質 当町の耕作放棄地の面積推移は。
課長 新規就農者に約1.5haの農地を集積できたことなどから、当町では耕作放棄地は改善傾向と考える。
質 新規就農者支援状況を伺う。
課長 都の補助金事業への町の上乗せ補助、新規就農者の経営を支援する人材投資事業などを推進している。ソフト面では指導農業士

による就農前研修などを都が行っている。
質 観光農園・体験農園・六次産業化などの推進策を伺う。
課長 農業振興策として有効。意欲ある農業者や場所の選定など時間をかけて進めていく。
風水害時の避難所運営を問う
質 自治会館は住居に近く、自治会と連携して避難所として有効利用するべき。
課長 従前より風水害でも自治会の判断による自主避難所として活用できるものとしている。

質 行政のみによる指定避難所運営は限界があり、地域主体での運営を検討するべきと考えるかがか。
課長 共助・自助は避難所運営でも非常に重要。総合的に考える。
就学援助について
質 入学準備金前倒し支給の算定年齢を問う。
課長 支給する年度が前年であるため、満5歳となる。支給率基準が厳しく47・6%となり、3月支給している。
質 文科省では「基準年齢を5歳で設定することは想定していない」と言っている。6歳で算定すべき。
課長 検討はしている、近隣自治体の様子を見たと上で判断する。
質 卒業アルバム代金は、国が要綱を変更し対象にしているが。
室長 アルバムは希望家庭のみ購入となり、均一的対象項目としていない。
国民健康保険税の子どもの均等割について
質 均等割り負担軽減の実施を求める。



おり たま ち こ
折田 真知子

課長 多子世帯などへの均等割り軽減は必要であるとは考えているが、国が制度において行うべきと考える。
質 第2子半額軽減の試算は。
課長 18歳以下の半額軽減を行った場合37.5万円となるが、一般会計からの支出は考え

てない。
台風19号について
質 河川監視システムの情報共有化を求める。
課長 河川状況や水位を確認し、避難情報等の参考とすることは重要と考える。方策については調査研究する。
質 雨水貯留浸透施設・雨水貯留タンクの設置助成を。
課長 減災防災対策として、地域特性を踏まえ研究する。



台風19号洗掘現場



木住野 智行

無形民俗文化財の映像記録について問う

質 平成22年から実施している映像記録の種類や量について。

教育長 町内に所在する無形民俗文化財を総合的に保存し、次世代に映像記録として活用するとともに地域活性化を図ることを目的とする。

課長 お祭りなどが16種類、行事や風俗等が12種類で合計28種類、延べ撮影時間600時間を超えるものが記録されている。

質 記録した映像の今後の活用について。

課長 映像記録の編集及びDVD化については、国や都の補助金の動向を鑑み、今後経過を見ていきたい。
災害時における雨水対策について問う



平井川 鹿の湯橋上流の増水

質 本宿小南側から亜細亜大学グラウンドまでの雨水対策処理について。

課長 本宿小学校南側の油田地区内の道路側溝に浸透枒4基、貯留水槽枒1基を設置、本宿学童クラブと本宿小学校の間の補助道第8号線内に浸透枒が6基、グリーンタウンと亜細亜大学の間の三吉野井

戸端5号線に浸透枒1基が設置されており、年度内に全ての清掃を行う予定である。
質 鹿の湯橋上流側冠水箇所の下水道のポンプ施設に雨水が流入している疑いについて

課長 今後、ストックマネジメント計画策定を予定しており、布設年度や緊急対応等を総合的に勘案しながら、下水道施設の調査や工事計画を検討する。
※ リスクを考慮した目標設定に対し、「点検・調査・計画」と「改革・修繕計画」策定を行うこと。



嘉倉 治



質 幼児教育無償化で受けた恩恵を他のサービュに切り替える選択肢、例えば給食費の無料化、学童クラブの増設、子ども広場、ネウボラ設置等の取り組みは。

課長 取り組まなくてはならない課題を慎重に見極め、優先順位を付けて取り組む。

子育て世代包括支援センターの開設を問う

課長 今年度半年分で2900万円の保護者負担軽減が見込まれ、町は約1600万円の軽減となる。

質 次世代育成クーポンの現状と課題を問う。

町長 子育て支援策を持続可能な制度として維持していくため、公平性、給付要件の適正化など、検証、検討していく。

質 幼児教育の無償化による保護者への軽減と町への影響は。

課長 今年度半年分で2900万円の保護者負担軽減が見込まれ、町は約1600万円の軽減となる。
質 次世代育成クーポンの使途、額面の変更はあり得るか。
課長 現時点では検討していないが、福祉単独事業の検証会議において、支給要件の見直しを検討している。



はま なか なお き
瀨中直樹



日の出町地域防災計画

今後の地域防災計画改善のために問う
質 災害対策本部の設置及び運営に関し、実際の運用方法を伺う。
課長 地域防災計画では「台風、暴風雨、集中豪雨等による風水害及びその他大規模な事故災害が発生した場合は、災害対策本部設置以前に、災害応急処理体制をとり、初動対応を行う。」とある。実際の運用方法は、災害が発生する前の初動段階

で災害対策本部を設置、自主避難所も可能な限り早期開設に努めている。
質 現在の防災計画は平成25年度修正版だが、修正や改定の予定はあるか伺う。
課長 地域防災計画の修正や改定は、予め決まっていない。国の防災基本計画、東京都の地域防災計画の修正に基づき行う。
質 地域防災計画の他に現場での運用マニユ

アルがあるか伺う。

課長 町で作成した災害時保健活動マニユアルがある。避難所等の運営には、都福祉保健局発行「避難所管理運営の指針」に基づき、避難所運営を行う。
質 避難体制の実際の運用方法を伺う。
課長 「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、災害発生の際に感じて取るべき行動を直感的に理解できるよう、警戒レベルを用いて避難勧告等の伝達を行う。
質 伝達文は市町村毎に工夫する事が望ましいが、何か工夫されているか伺う。
課長 防災行政無線での広報を前提に、行うべき行動が伝わりやすいよう内容を短くしている。



かとう みつのり
加藤光徳

高齢者福祉政策（事業）について
質 70、75歳医療費助成の現状（助成対象者・助成金額）について。
課長 平成28年度対象者3600人、実施助成額は、7875万円、29年度、3792人、1億655万円、30年度3861人、1億559万円である。
質 従来、どのような検討・検証を行ったのか。
課長 福祉単独施策の検証会議で、問題点を洗い出し、公平性の観点から、各施策の整合性を調整し、見直しを行った。助成対象要件は、町の介護保険の被保険者であることを追加し、助成停止要件は、前2年間の税金等の滞納の方を新たに追加した。

質 高齢化社会を迎え、今後この制度の方向性は。
課長 町でも高齢化が進んでおり、対象者の増加や自己負担額の改正の影響により助成額は増加の一途を辿っている。国で検討中の75歳以上負担割合の変更が実施された場合、助成額が影響を受ける事も事実である。
質 「持続可能な制度」にするための方策は。
課長 居住期間や滞納

者除外要件の検討、検証を定期的に行っていく。国の医療制度改正による、給付と負担の見直しが行われた場合も迅速に対応し、上限額、負担割合の設定などを予測分析し、効果的な事業とすべく、資料作成や医療費抑制として、医療費の分析や保健事業の強化を進めていく。
質 日の出町元気に長生き奨励金について。
課長 資格要件について、公平性の観点から他の施策との整合性を図るため、現在見直しを行っている。





平野 隆史

武蔵引田駅周辺の区画整理について

質 現状について。

課長 本年6月下旬から、武蔵引田駅北口土地区画整理事業地内の道路の一部通行止めについて、広報日の出6

月号でお知らせし、工事着手の様子が周辺からも確認できる状態とな

っている。10月16日付の新聞によると、「既に発注した分を含めて

関連予算の執行を停止する」と報道され、11

月1日付の広報あきる野では、「ここで一度立

ち止まり、外部の有識者を交えた検討会議を

早急に立ち上げ、その結果に基づき見直しを行います」とされてい

る。

質 町内地権者の人数は。

課長 町内地権者の人

数については、あきる野市に聞いたところ、全地権者299名内の、町内地権者は36名である。

質 中止になった場合の町における影響について。

課長 日の出町とあき

る野市相互の負担金で運営している駐輪場整理やトイレ施設管理があるが、工事停止期間や中止における影響は示されていない。また、あきる野市と話し合いを始めた事案はあるが、町として、区画整理事業に沿って具体化した事業はない。現時点では状況を見守る段階だと考えている。



工事が停止されている
武蔵引田駅北口土地面整理事業

ひろし 浩

しみず 清水



台風19号に関する町の対応について問う

質 災害対策本部を運営して得た課題や今後の問題点について伺う。

課長 今まで経験したことがない災害対策本部運営を行った。運営して得た結果として、

避難された方から、町内の被害情報についての問い合わせが多かつ

たと報告があり、今後、情報提供方法やその内容を検証していく。

また、被害状況や対応



大久野中学校2年生 女子ソフトテニス部
ボランティア活動の様子

状況等を整理し問題を洗い出し検証していく。

質 避難所でボランティア活動をしてくれた方の報告はあったか。

課長 大雨の中、交通整理などの作業等を民生委員の方に手伝って頂き非常に助かったと報告があった。

質 自主防災組織の役割について伺う。

課長 町内すべての自治会で自主防災組織を運営。災害時の活動内容として、情報収集・

伝達、集団避難の実施、安全確保等の活動が地域防災計画には記載されている。

質 防災士の資格取得のために民間防災組織の助成金を使うことは可能か。

課長 民間防災組織の一層の充実強化を図るための防災の意識の高揚、啓発及び防災資機

材、非常食等の購入を目的として利用する範囲では問題ないと考えている。



あお しか かず お
青 鹿 和 男



学校給食センター調理場

災害について
質 平井川の災害状況と、その対応は。
町長 町内各所で土砂崩れや道路冠水等の災害が発生、復旧対応を継続的に実施している。今後も関係機関との連携・協力により一日も早い復旧に全力を挙げたい。

学校給食について
質 学校給食施設整備の現状とその対応は。
所長 学校給食センターは、昭和54年2月に整備され、同年4月より事業を開始し、築40年が経過したところである。これまで整備してきた施設や設備の主なものは、平成23年度の耐震補強改修、25年度の蒸気ボイラーの交換、27年度の高圧変電設備改修、28年度の食器洗浄機の入替え、

今年度の屋根の防水加工工事などである。現在においても小規模なものを含め、老朽化による改修、交換を必要とするものは数多くある。食品衛生管理基準に適合する施設にするためには、床をドライ方式に変え、荷受け、下処理、調理場など調理工程を各々の部屋に区切ることが望ましい。築年数及びコスト面を考慮すれば、今後建て替えが必要であることは否めない。また、「公共施設等長期保全計画」により、広域連携を視野に入れた検討も必要と思われるが、今後の状況を見守ってきたい。

請願・陳情は！

3月の定例会では、2月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版(縦長)の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。(開庁時間にご来庁願います)
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

(問い合わせ 電話 (597) 0511 内 363)

表紙

〇〇に関する請願

紹介議員 ㊟

※陳情には紹介議員はいりません。

(陳情に表紙はいりません)

本文

〇〇に関する請願 (陳情)

要旨
理由

平成 年 月 日
請願 (陳情) 者
住所
氏名 ㊟
電話番号
外 名

日の出町議会議長 殿

視察レポート

群馬県 甘楽町 沼田市

◎ 甘楽町

○ 目的

甘楽町は、「土砂等による埋立て等の規制に関する条例」を平成29年9月に制定している。その制定経緯と条例の内容、施行後の取り扱い等を当町の残土問題に関する参考とするため。

また、平成12年にオープンした「甘楽ふるさと農園」は、町内在住者だけではなく、県外からの利用者もいる充実した農園であり、開園までの経緯と運営内容等を当町の農地・農業政策の参考とするため。

・甘楽町土砂等による埋立て等の規制に関する条例について

群馬県では「土砂等による埋立て等の規制に関する条例」を制定し、県下の市町村にもその制定を推奨し



甘楽町 甘楽ふるさと農園にて

ており、甘楽町でも近隣市町村の制定に合わせて条例を制定した。条例施行後2年経過しているが、条例の規制対象となる事例はこれまで発生していない。

条例には違反事業に対する現状復帰の規定はないが、条例の規定により対応することとし、地元住民または自治会の同意規定についても同様である。

・甘楽ふるさと農園について

市民農園構想の検討開始から6年の準備期間を経て、「甘楽ふるさと農園」をオープンした。この農園は単なる貸し農園ではなく、

所感

甘楽町土砂等による埋立て等の規制に関する条例については、問題が顕在化する前からの取組みであり、これまでの適用案件が無いことから、本条例による抑止力が働いていると考えられる。条例制定にあたり、最も考慮されたポイントが「土壌環境への影響」であった点は重要である。早急に、上位条例との関係等を調査し、東京都の動向を見ながら、当町の条例改正の準備を考えていきたい。

甘楽ふるさと農園については、先ず目を見張ったのは「オーケション」環境の素晴らしさであった。議会での一般質問を契機に、先進地視察、協議会を経て開設された。有機栽培による農作物の生産体験を地元農家の方から手ほどきをつけ、収穫の楽しみが得られることである。特筆すべき点は、甘楽町以外からの利用者が多く、友好都市である東京都北区の方が全体の約20%を占め、滞在型農園ということである。単純に当町の町民農園と比較は出来ないが、当町の都市農業活性化につなげられる多くのヒントを頂いた。

◎ 沼田市

○ 目的

当町では、住民福祉の向上と健康増進を目的に「ひので三ツ沢つるる温泉」「ひので肝要の里」を設置しているが集客力が乏しく、特に肝要の里の業務が農産物の加工が主になっていることから、「道の駅白沢」の運営状況等を当町の観光・農業政策等の参考とするため。

・道の駅 白沢について

日本一の河岸段丘と赤城山を望む展望露天風呂が楽しめ、多くの利用客で賑わう日帰り温泉施設「望郷の湯」を中心に、農産物直売所、レストラン、市民向けの福祉センターが配置され、エリア全体が「道の駅」と

所感

沼田市は東京圏との間の交通利便性を背景として観光と農業に力を入れているが、従事者の高齢化や近隣施設との競合など、当町とも共通する課題を抱えている。この10年で農業人口が約30%減少、耕作放棄地が約60%増加するなど農業が縮小しつつあり、その活性化が急務となっている。一方、道の駅直結の農産物直売所や観光農園を有しており、それらを生かすべく市はブランド化と6次産業化を農業戦略として打ち出している。

その一環として、一定の条件を満たす農産物の「ぬまた」ブランド認証や6次産業化計画を有する農業者の認証制度を設け、新商品開発、海外への販路拡大、市場ニーズとのマッチングなどの支援に市が取り組んでいることは注目している。総合的に見ると、好立地に関連する施設を集中し、さらに市民向けの福祉センターも併設し、施設全体の価値を高めている点は大いに参考になると考える。



沼田市 道の駅 白沢にて

して観光客を誘致するだけでなく、人々の交流や憩いの場として多くの市民にも親しまれている。

農産物直売所「座・白沢」は、「望郷の湯」の目の前にあり、観光客から勤め帰りの市民まで、一日中訪れる人が絶えない施設で、野菜や果物等の販売、特産物や民芸品も飾られ、ドライブの途中で立ち寄るにも最適な「オーケション」になっている。

議 会 日 誌

本会議の会議録を
インターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。

知りたい情報を広く的確に調べることができますので、積極的にご利用ください。

アクセス方法

町のホームページ
(www.town.hinode.tokyo.jp)

↓
町議会

↓
会議録

↓
会議録検索システム



日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等も掲載しています。

3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21 議会運営委員会	22
23	24	25	26	27	28 本会議 (議案審議)	29
3/1	2 本会議 (一般質問)	3	4	5 総務まちづくり 常任委員会	6 厚生文教 常任委員会	7
8	9 議会運営 委員会	10 予算決算常任委員会 (当初予算) 9:30 ~	11	12	13	14
15	16 本会議 (議案審議)	17	18	19	20	21

午前10時開会 議会を傍聴しましょう



議会だより編集委員

木住野 智行
青鹿 和男

縄井 貴代子
折田 眞知子
(編集委員長)

濱中 直樹
萩原 隆旦

編集後記

令和二年も二月を迎え、春の足音が聞こえそうな今日この頃です。

昨年はこれまでにない大雨による大きな災害がありましたが、今年は穏やかな年になるよう祈りたいと思います。

今号の議会だよりでは、災害対応策などを中心に活発な議論が展開された昨年12月議会の報告をお届けします。編集委員一同、新たな時代のまちづくりをめざして、議会の様子をいっそう分かりやすくお伝えするとともに、みなさまとともに町政を考えるための紙面づくりを心掛けております。気軽にご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

編集副委員長 萩原 隆旦

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線363

再生紙を使用しています。